

令和4年度事業報告書

I 基本事業

- 1 高齢者に適した就業機会の開拓と就業提供を行い就業の促進を図った。
- 2 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供を行った。
- 3 高齢者の就業に関する知識及び技能の向上に努めた。
- 4 高齢者の就業に関する調査研究に努めた。
- 5 高齢者の就業に関する相談を行った。
- 6 会員の安全就業と健康管理を促進した。
- 7 センターの運営体制の強化に努めた。

II 事業の実施状況

1 受注の拡大及び就業提供の促進

区内の事業所や一般家庭等に、会員の就業に関する理解と協力を求めるとともに、受注拡大を図り就業提供を促進した。

- (1) 地域に密着した事業として、シルバー派遣事業・介護事業・シルバーお助け隊事業（それぞれ後掲）を実施し、就業提供の促進を図った。
- (2) ホームページの専用フォームを活用し、24時間仕事の依頼を受けることで、受注の拡大を図った。
- (3) 就業機会開拓専門員等が、会員と仕事のマッチングを積極的に行った。
- (4) 事業紹介リーフレットの配布を行い、事業内容を周知し、受注の拡大を図った。
- (5) 独自事業の研究を行い、シルバーマーケット事業（後掲）を立ち上げた。
- (6) 会員の就業条件及び就業環境について、適宜状況を把握し、課題があれば発注者への交渉を実施し、向上・適正化に努めた。

2 就業に関する情報の収集及び提供

高齢者の就業に関する情報の収集及び提供を推進するとともに、様々な機会をとらえ、積極的に広報活動を実施し、事業の普及を図った。

- (1) 「ねんりん・えどがわ」の発行（年3回）
広報紙の発行を通じて、会員に対し就業や安全に関する情報の提供を行う一方、地域に対して高齢者の就業に関する理解を深めた。
- (2) バナー広告の実施
江戸川区ホームページのトップページにバナー広告を掲載して、認知度の向上を図った。

(3) 各種イベント参加によるPR及び需要の把握

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年参加している地域まつり等全てのイベントが中止された中、10月にアリオ葛西正面エントランスにおいて掲示板を設置し、PRに努めた。

(4) 関係機関からの情報の収集

江戸川区、公益財団法人東京しごと財団、ハローワーク、一般社団法人みんなの就労センター等と連携を図り、就業に関する情報の収集を図った。

3 会員の増強と研修の強化

受注拡大の推進に併せて、会員を増強するため入会促進に努めるとともに、会員の意識・技能の向上に努めた。

(1) 入会説明会の実施

興味を持った高齢者を入会に結び付けるため、入会説明会を本部・分室で毎週（年末年始等除く）、1日3回ずつ実施することで、入会へのハードルを下げるよう取り組んだ。

また、定員を絞ることで、より丁寧な説明を実現した。

本 部：138回実施 260名参加

葛西分室：138回実施 289名参加

小岩分室：135回実施 193名参加 合計：411回 742名

(令和4年度 新入会員：602名)

(2) 働きながら年金受給セミナーへの協力

ハローワーク木場及び江戸川年金事務所と連携し、高年齢求職者給付金受給者等を対象に、セミナーを開催（令和4年8月以降、毎月1回）し、シルバー人材センターのPRを行った。

8回実施 98名参加

(3) 研修の実施

新型コロナウイルス感染症の流行により、規模・内容を絞っての実施となった。

① 役員（理事・監事）研修

ア 新任事務局長研修

・都連合主催：4月21日（木） 出席：事務局長

・全シ協主催：8月30日（火）・31日（水） 出席：事務局長

イ 役員研修【監事の役割】

4月15日（金） 出席：監事1名

ウ 保険事故対応力向上研修

11月11日（金） 出席：事務局長

エ 役員研修【経営管理】

11月25日（金） 出席：会長代行、事務局長

オ 役員研修【認知症サポーター養成講座】

2月27日（月） 出席：理事・監事・事務局職員13名

② 会員向け研修

ア シルバーサポート従事者研修

7月13日（水）・10月31日（月） 出席：30名

イ 襖職後継者育成研修

- ・9月5日（月）～21日（水） 出席：1名
- ・3月6日（月）～23日（木） 出席：2名

ウ 植木職従事会員技術研修

2月14日（火）・15日（水） 出席：延べ27名

③ 安全就業研修

ア 第一地域シルバー人材センター安全就業研修会

- ・10月18日（火） 出席：11名
- ・1月20日（金） 出席：6名

イ 植木職安全研修

11月22日（火） 出席：37名

4 就業相談事業と就業促進

常時来団者へ相談業務を実施し、就業に関する情報を提供するとともに、高齢者の希望する仕事や現況に応じた就業機会の提供に努めた。

5 安全管理対策の推進

安全管理委員会を開催し、会員の安全就業と健康管理を促進するための調査研究を行うとともに、就業現場のパトロール、広報活動や講習会、助成事業等、

多様な対策を実施し、会員が健康で安全に働けるよう努めた。

(1) 安全管理委員会

【本会】 5回開催（5月、9月、11月、12月、2月） 出席：委員 延べ44名

【部会】 4回開催（6月、7月、8月、9月） 出席：委員 延べ24名

(2) 安全就業パトロール

安全管理委員が就業現場を訪問し、安全対策の履行状況を確認し、助言を行った。

5回実施（10月、11月、1月、2月） 出席：委員 延べ20名

(3) 東京しごと財団安全就業巡回指導

東京しごと財団の安全就業パトロール指導員2名による就業現場の巡回とセンターの安全対策に関する聴取及び講評を受けた。

6月24日（金） 出席：5名

(4) 安全就業強化月間に係る啓発活動

安全管理委員による熱中症啓発チラシと塩分タブレットの配付を実施。

6月30日（木）・7月1日（金） 出席：委員 延べ12名

(5) 第一地域シルバー人材センター安全管理研究会

第一地域の5センターにおける安全就業対策の発表及び意見交換を実施。

9月22日（木） 出席：4名

(6) シルバー健康体操

会員の健康管理や維持増進、就業途上及び就業中の事故防止を目的とした、オリジナル体操（区歌のメロディーに合わせて行う簡単な体操）を、区民館やコミュニティ会館等を会場とし、年間88回実施した。

参加：延べ1,225名

(7) 自転車ヘルメット購入助成

自転車による事故防止を目的に、自転車を使用する就業会員を対象にヘルメットの購入費用を最大8千円助成した。

助成実績：384名 2,522,634円

(8) シルバー総合保険

就業に係る事故（傷害、賠償）への備えとして加入し、迅速な手続きに努めた。

(9) 安全就業に関する研修の実施

前掲のとおり

6 運営体制の強化

事業の効果的・効率的な推進を図るため、各種会議を開催するとともに、会員と事務局の連携強化を図った。

(1) 総会の開催

6月29日(水) 会場：中央くすのきカルチャーセンター

内容：令和3年度事業報告及び決算、理事選任、
定款の一部変更

出席状況：	出席会員	41名
	委任状提出者	2,107名
	議決権行使書提出者	637名
	合計	2,785名

(2) 理事会の開催

定例理事会 開催：月1回(年12回)

内容：新入会員の承認、事業執行上の審議・承認等

7 介護事業(江戸川区シルバーサポート)の実施

地域の介護需要と会員の就業ニーズを勘案し、令和4年度より、江戸川区介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業(訪問サービス)の指定事業所として、要支援状態等にある利用者に対し、登録ヘルパーによる生活支援・同行支援等サービスを提供した。

実施件数：12件

就業延実人員：187名

契約金：583,248円(介護給付費含む)

8 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の推進

高齢者の多様な就業ニーズを踏まえた就業機会を確保していくため、請負事業に加えて、労働者派遣事業(シルバー派遣事業)のPRに努めた。さらに事業の適正実施に向け、衛生管理委員会の開催や各種講習の受講に努めた。

受託件数：532件

就業実人員：207名

就業延日人員：20,246名

契約金：104,302,414円

(1) シルバー人材センター派遣元責任者講習会

7月21日(木) ほか 出席：職員4名

(2) 衛生管理委員会

開催：原則毎月1回(年12回)

内容：派遣会員の就業環境・健康増進について、産業医からの助言等

9 シルバーマーケットの実施

会員の趣味や特技を生かした新たな就業の形として、会員が手作りした作品を展示販売するマーケットを開催した。

実施回数： 2回 7日間
参加人員： 81名
売上金額： 388,090円

10 シルバーお助け隊の実施

区内の高齢者世帯・ひとり親世帯・障がい者世帯やその他一時的に支援を必要としている世帯等を対象に、1時間程度の作業で完了する家庭内のちょっとした困りごとを会員が代わって行い、依頼者の生活改善を図った。併せて本事業を通じてシルバー人材センターを広くPRし、受注拡大に繋げた。

実施件数： 438件
就業延実人員： 457名
契約金： 457,000円

※ 事業報告書・計算書類・参考書類の内容等について修正が生じた場合には、当センターのホームページ (<https://www.edogawa-sjc.jp/>) に掲載するとともに、事務局前の告知板等に掲示してお知らせいたします。